

清流のほとり



令和6年2月1日(木)発行

園長 津田 将美

写真のカラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

言葉の中の 10の姿

3学期最初の園外保育は、全園でつぶらの公園まで行ってきました。

その日は、空気が澄んで気持ちの良い日でした。公園の駐車場に着くと、富士山が大きく見えて、子どもたちからは歓声が上がりました。年長児が両側から年少児の手を握り、安全に配慮しながら遊具広場まで向かいました。

途中の道路には雪が残っていてびっくりしましたが、日なたはポカポカと気持ちよく、楽しそうに向かう園児を見ているとほのぼのとした気分になります。富士山もにこにこしながら、子どもたちを見守ってくれているようでした。

たくさんの遊具があるつぶらの公園ですが、子どもたちの一番人気は、網のアスレチックでした。あまりの人気に大行列ができていました。そこから聞こえてきた子どもたちの言葉に、以前の園だよりで紹介した「10の姿」が垣間見られるものがあったので、紹介します。

「あとちょっとだ、がんばれ！」（豊かな感性と表現）（言葉による伝え合い）

「自分ひとりでも登れたよ！！」（自立心）

「3回やった！！もう1回やろう！」（健康な心と体）

「ちゃんと順番に並んでね。」（道徳性・規範意識芽生え）

「一度に入れるのは、6にんまでって書いてあるよ。」

（数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚）

「2人ゴールした！あと2人入れるよ。」（思考力の芽生え）

「もう少し、がんばれ！！」（協同性）（社会生活との関わり）

「あや先生もやってるよ！がんばれ～！！」

（自然との関わり・生命尊重）（先生大好き：おまけ）

子どもたちのこの場面の会話だけ振り返ってみても、「10の姿」の要素がすべて入っているんだな…と、改めて思いました。

子どもたちの心は素直でやわらかく、好奇心いっぱいです。友だちや自然、様々な事象と関わる中で、自分の思いや願いをふくらませ、それを実現しようとねばり強く取り組みます。私たち大人は、注意深くそれに気づき、大切にし、その芽を摘まないよう配慮しながら関わっていかれたらいいのだと思います。日常生活の中でも10の姿を常に意識して子どもたちと関わっていきたいと思います。

この日も良い日となりました。



つぶらの公園遊具広場全景